

## 市民政党「草の根」 がんばれ！

現在の政治状況を「暴政」と称する人がいる。あるリーダーの存在で混乱が生じているという点では、暴政が敷かれていると言わざるをえない。この混乱を正そうと闘う政治家も少ない。政治に対する見識をもっておられるはずだが、実際の風景をしり目に、党利党略に明け暮れ、保身のみを考える政治家がなんと多いことか。この国に政治は存在するのか、と失望してしまう。

しからば、政治とは何か。大上段に振りかぶって、理論や理屈を並べてみても仕方がないことだが、素朴に言っただけで、「国民の平和、安全を守るための働き」

それが教育や、福祉につながって機能していく。国民の幸せ、希望を作り出すのが仕事で、国民が生きていく上の「よすが」なのである。

国民は自己主張して「その働き」を補完していくのが「参加＝発言」していくことでうまく機能する。政治のプロのおごりを正すことができる。権力者＝政治家に忖度している場合ではないのである。

2012年「草の根」は、「新たな市民政党の立ち上げ」を発表した。政治改革を目指して、「もはや、既成の政治政党に任せてはけません。」「政治と官僚と業界がもたれあう古い政治と決別し、保守でも革新でもなく、市民、国民のために命を懸けて働く本物の政党を作り、政治家を育成し、この国の政治を根本的に変える」

変えなければならない！

財政再建、社会保障、世界的視野に目を向けた外交、防衛、とりわけ、基地問題、原発の問題は国民の未来の存亡を左右する喫緊の要事であるからだ。

「草の根」はそのことを認識し実行に踏み出した。

党利党略、自己の利益のみに明け暮れる「我が物顔の政治プロ(?)）はいらないのです。

「草の根」の理念が多くの人々に理解され、国民運動にまで高めていけたらと思いをめぐらしている。

市民政党「草の根」頑張れ！ 風の会も頑張れ！

2018年1月20日

稲生 慧